

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 30 週（7 月 22 日～7 月 28 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	5 人	類型	患者 2 人、 無症状病原体保有者 3 人
		血清型	O157 2 人、O8 1 人、 不明 2 人
四類感染症 レジオネラ症	5 人	病型	肺炎型 5 人
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3 人	菌種	<i>Enterobacter</i> sp. 2 人、 <i>Klebsiella</i> sp. 1 人
急性脳炎	1 人	病原体	不明
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 人	血清群	A 群 1 人、G 群 1 人
侵襲性肺炎球菌感染症	3 人		
梅毒	6 人	病型	早期顕症Ⅰ期 1 人、 早期顕症Ⅱ期 3 人、 晩期顕症 1 人、 無症状病原体保有者 1 人
百日咳	2 人	年齢階級	6 歳 1 人、10 歳代 1 人

＜定点把握対象疾患の患者情報＞

新型コロナウイルス感染症(12.44→12.52:図1-1, 2, 3)の定点当たり報告数は、第19週以降増加傾向が続いていたが、今週は前週と同水準であった。保健所別では幸手(20.07→25.57)保健所管内で大きく増加した。年齢階級別では前年の同週と比較して、60歳以上の割合が高くなっている(18.3%→27.3%)。基幹定点における入院患者の報告は78人(前週98人)であり、年齢階級別の報告数では、65歳以上が全体の約77%となっている。手足口病(18.32→14.09:図2-1, 2)の定点当たり報告数は、前週と比較して減少したものの、非常に高い水準にある。保健所別では、南部(21.20)、朝霞(18.67)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1歳及び2歳からの報告が多く、全体の約46%となっている。ヘルパンギーナ(3.46→2.94:図3)の定点当たり報告数は、前週と比較して減少したものの、依然として高い水準にある。保健所別では、南部(9.20)保健所管内からの報告が非常に多く、川口市(7.46)保健所管内からの報告も多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎3人、流行性角結膜炎24人の報告があった。基幹定点報告疾患では、マイコプラズマ肺炎20人、インフルエンザ(入院)2人の報告があった。マイコプラズマ肺炎は第27週以降、報告数の増加が続いている。マイコプラズマ肺炎(図4)の好発年齢を年齢3歳階級別で見ると、小学校低学年にあたる6～8歳で6人、小学校高学年にあたる9～11歳で8人となっており、6～11歳の報告が全体の70%を占めている。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/nid/ja/from-ids.html>)で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第30週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1-1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

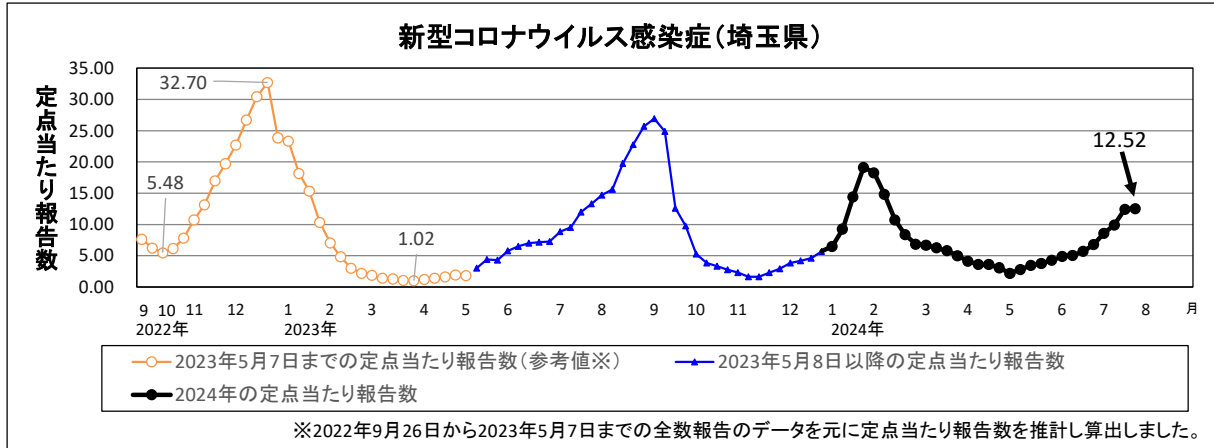


図1-2 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移（2024年第28週～第30週）

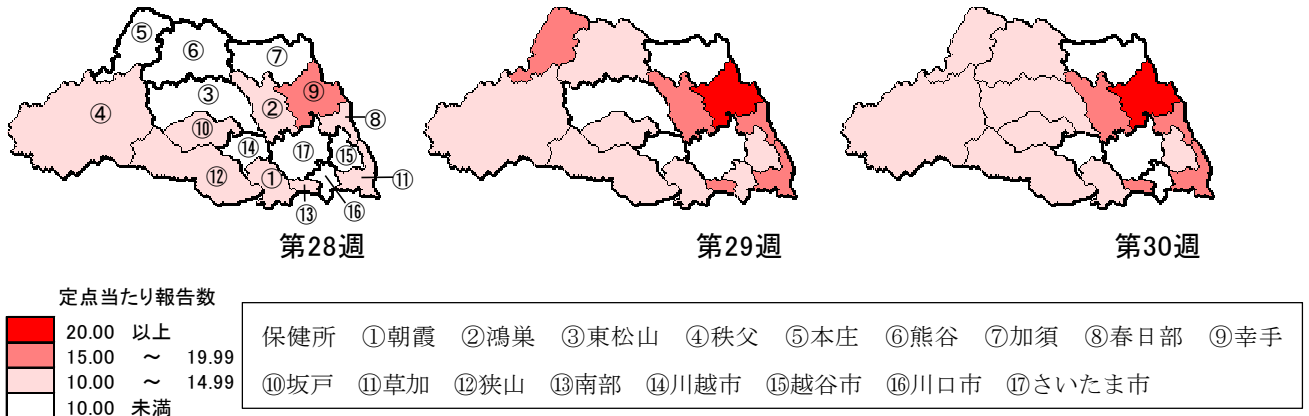
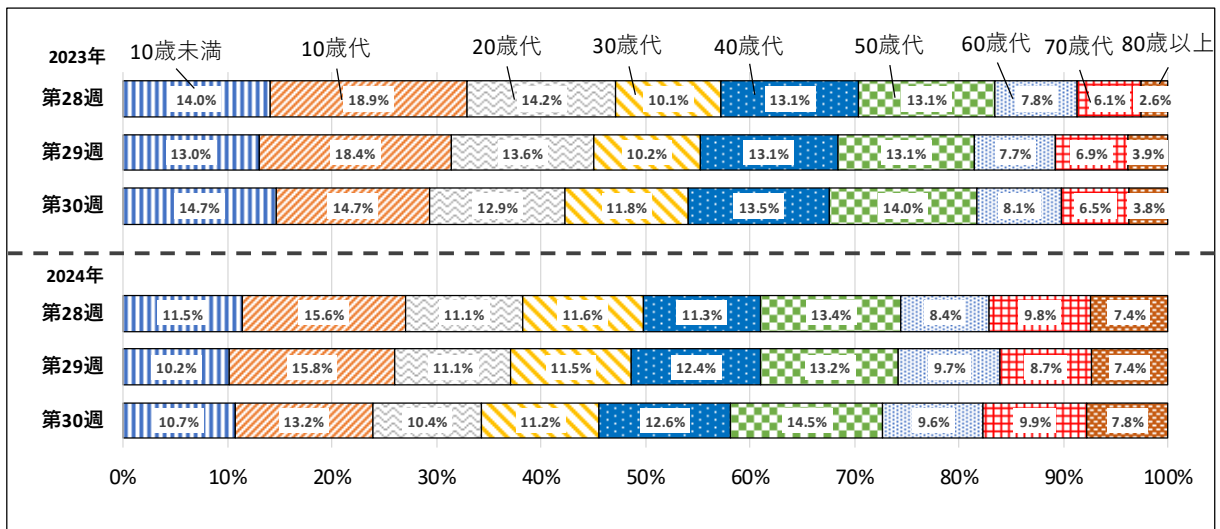


図1-3 新型コロナウイルス感染症の年齢階級別報告割合の推移（2024年第28週～第30週）



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第30週)

(2024年7月30日 15:30集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	5	80			
四類感染症					
E型肝炎		26	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		2
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	5	67
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		5	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		14	侵襲性肺炎球菌感染症	3	61
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		7	水痘(入院例に限る)		1
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	51	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	6	246
急性脳炎	1	17	播種性クリプトコックス症		7
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	82	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		20	百日咳	2	51
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		15	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第30週

7月22日~7月28日)

保 健 所	報告数 #1	インフル エンザ	新型 コロナ ウイル ス感 染症	R S ウ ィ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎 #2	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎 #3	感 染 性 胃 腸 炎 (ロ タ ウ ィ ル ス)	イ ン フ ル エ ン ザ (入 院)	新 型 コ ロ ナ ウ ィ ル ス 感 染 症 (入 院)
全 県	65	3,269	89	92	385	593	46	2,310	33	44	482	9	3	24	-	-	20	-	-	2	78	
	0.25	12.52	0.54	0.56	2.35	3.62	0.28	14.09	0.20	0.27	2.94	0.05	0.07	0.57	-	-	1.67	-	-	0.17	6.50	
朝 霞	8	299	10	3	51	69	5	280	6	7	40	1	-	4	-	-	-	-	-	-	9	
	0.35	13.00	0.67	0.20	3.40	4.60	0.33	18.67	0.40	0.47	2.67	0.07	-	1.00	-	-	-	-	-	-	9.00	
鴻 巣	6	343	6	23	39	43	1	200	2	2	14	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	0.32	18.05	0.50	1.92	3.25	3.58	0.08	16.67	0.17	0.17	1.17	0.08	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
東 松 山	7	81	-	3	5	45	1	69	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	0.88	10.13	-	0.60	1.00	9.00	0.20	13.80	-	-	1.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00	
秩 父	1	53	1	-	4	-	1	19	-	-	7	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	
	0.20	10.60	0.33	-	1.33	-	0.33	6.33	-	-	2.33	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	
本 庄	-	90	-	-	-	1	3	27	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
	-	12.86	-	-	-	0.25	0.75	6.75	-	-	4.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	
熊 谷	1	172	3	2	23	19	3	132	-	2	38	-	-	1	-	-	-	-	-	-	6	
	0.08	13.23	0.38	0.25	2.88	2.38	0.38	16.50	-	0.25	4.75	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	6.00	
加 須	1	94	-	-	10	1	-	72	-	-	6	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	
	0.10	9.40	-	-	1.67	0.17	-	12.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	-	-	
春 日 部	-	154	3	4	34	11	-	70	-	-	13	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	-	15.40	0.50	0.67	5.67	1.83	-	11.67	-	-	2.17	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
幸 手	7	358	12	13	28	14	4	105	1	1	17	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	0.50	25.57	1.33	1.44	3.11	1.56	0.44	11.67	0.11	0.11	1.89	0.11	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	4	144	5	4	4	27	1	71	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
	0.40	14.40	0.83	0.67	0.67	4.50	0.17	11.83	-	0.17	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	
草 加	12	318	3	2	34	38	1	148	4	2	47	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	0.63	16.74	0.25	0.17	2.83	3.17	0.08	12.33	0.33	0.17	3.92	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
狭 山	8	339	18	7	49	35	2	233	-	6	29	-	2	2	-	-	-	-	-	-	6	
	0.32	13.56	1.13	0.44	3.06	2.19	0.13	14.56	-	0.38	1.81	-	0.40	0.40	-	-	-	-	-	-	6.00	
南 部	2	122	13	5	29	55	3	106	8	-	46	2	-	-	-	-	9	-	-	1	10	
	0.25	15.25	2.60	1.00	5.80	11.00	0.60	21.20	1.60	-	9.20	0.40	-	-	-	-	9.00	-	-	1.00	10.00	
川 越 市	2	95	1	4	16	11	4	100	-	3	18	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	0.14	6.79	0.13	0.50	2.00	1.38	0.50	12.50	-	0.38	2.25	0.13	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	1	165	-	5	5	47	4	68	-	2	26	-	-	-	-	-	5	-	-	-	6	
	0.08	12.69	-	0.63	0.63	5.88	0.50	8.50	-	0.25	3.25	-	-	-	-	-	5.00	-	-	-	6.00	
川 口 市	4	187	7	11	19	74	6	210	8	3	97	1	-	2	-	-	1	-	-	1	12	
	0.20	9.35	0.54	0.85	1.46	5.69	0.46	16.15	0.62	0.23	7.46	0.08	-	0.50	-	-	1.00	-	-	1.00	12.00	
さいたま市	1	255	7	6	35	103	7	400	4	15	47	2	1	14	-	-	4	-	-	-	18	
	0.02	5.93	0.25	0.21	1.25	3.68	0.25	14.29	0.14	0.54	1.68	0.07	0.11	1.56	-	-	4.00	-	-	-	18.00	

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

7月 30日 13:00 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第30週 7月22日～7月28日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	65	-	-	6	2	3	2	3	1	4	2	-	8	3	6	2	5	11	4	3	-	
新型コロナウイルス感染症	3,269	22	31	55	43	29	23	26	35	32	31	23	248	184	341	367	412	475	314	322	256	
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～							
RSウイルス感染症	89	10	23	30	13	7	3	2	-	-	1	-	-	-	-							
咽頭結膜熱	92	-	4	16	12	12	12	11	10	8	3	2	2	-	-							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	385	-	4	12	18	39	31	54	45	41	36	23	60	3	19							
感染性胃腸炎	593	10	31	83	51	36	64	69	50	34	34	21	61	4	45							
水痘	46	-	-	2	4	1	2	5	2	7	5	6	12	-	-							
手足口病	2,310	19	192	633	425	281	263	192	100	73	39	21	48	4	20							
伝染性紅斑	33	-	-	-	-	6	3	3	2	8	6	3	2	-	-							
突発性発しん	44	-	10	24	6	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	482	3	28	102	90	76	69	57	19	12	7	4	12	2	1							
流行性耳下腺炎	9	-	-	-	-	-	1	2	3	-	-	1	1	-	1							
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	24	1	-	-	3	3	-	-	1	-	-	1	1	-	1	7	3	1	2	-	-	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	20	-	-	10	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザ(入院)	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
新型コロナウイルス感染症(入院)	78	-	2	1	1	-	-	1	1	3	-	1	3	2	3	4	56					

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第28週 (7月8日～7月14日)

令和6年7月31日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は第25週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(6.32)、茨城県(0.91)、山口県(0.76)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は37例と前週と比較して減少した。都道府県別では20都道府県から報告があり、年齢別では1～9歳(11例)、10代(1例)、30代(1例)、40代(1例)、50代(1例)、60代(5例)、70代(8例)、80歳以上(9例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は鹿児島県(31.75)、佐賀県(29.46)、宮崎県(29.34)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は3,081例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(91例)、1～9歳(68例)、10代(39例)、20代(36例)、30代(44例)、40代(70例)、50代(176例)、60代(279例)、70代(766例)、80歳以上(1,512例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第25週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(7.06)、長崎県(6.34)、佐賀県(6.30)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第25週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は岩手県(1.73)、新潟県(1.65)、北海道(1.64)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福岡県(6.79)、鳥取県(5.68)、宮崎県(5.19)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は大分県(10.67)、福井県(5.96)、千葉県(5.00)である。手足口病の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は三重県(33.69)、富山県(21.93)、埼玉県(21.75)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は青森県(0.47)、東京都(0.35)、神奈川県(0.29)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は静岡県(5.83)、埼玉県(4.28)、佐賀県(4.17)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位2位は岩手県(0.13)、沖縄県(0.10)である。

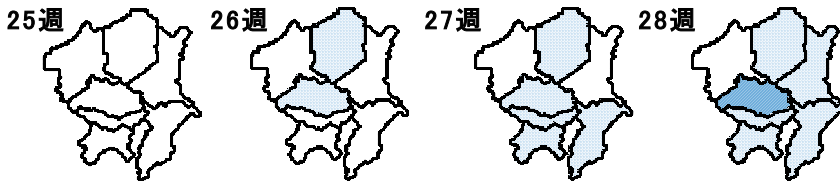
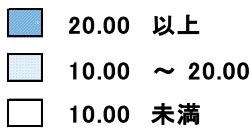
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.86)、香川県(2.00)、大阪府(1.94)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で減少した。3都道府県から5例報告があり、年齢別では1～4歳(2例)、5～9歳(2例)、70歳以上(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第28週(7月8日～7月14日): 通巻第26巻 第28号 より

<関東情報>

手足口病の定点当たり報告数は、埼玉県(21.75)からの報告が多い。

手足口病



2024年 28週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 1,648 定点当たり 0.33	452 0.30	109 0.91	5 0.07	8 0.09	29 0.11	79 0.39	139 0.33	83 0.23
新型コロナウイルス感染症	報告数 55,072 定点当たり 11.18	14,154 9.34	1,300 10.83	622 8.18	659 7.75	2,582 9.97	2,567 12.77	3,146 7.56	3,278 9.13
RSウイルス感染症	報告数 5,763 定点当たり 1.84	545 0.57	59 0.79	48 1.00	34 0.64	111 0.69	57 0.45	116 0.44	120 0.52
咽頭結膜熱	報告数 1,869 定点当たり 0.60	511 0.53	40 0.53	11 0.23	60 1.13	126 0.78	71 0.56	99 0.38	104 0.45
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 9,435 定点当たり 3.01	2,779 2.89	313 4.17	91 1.90	146 2.75	606 3.74	543 4.31	571 2.16	509 2.19
感染性胃腸炎	報告数 11,632 定点当たり 3.71	3,657 3.81	248 3.31	76 1.58	264 4.98	766 4.73	630 5.00	990 3.75	683 2.94
水痘	報告数 633 定点当たり 0.20	234 0.24	11 0.15	11 0.23	9 0.17	55 0.34	47 0.37	51 0.19	50 0.22
手足口病	報告数 41,885 定点当たり 13.34	15,411 16.05	882 11.76	876 18.25	291 5.49	3,524 21.75	2,106 16.71	4,326 16.39	3,406 14.68
伝染性紅斑	報告数 289 定点当たり 0.09	219 0.23	-	9 0.19	3 0.06	29 0.18	18 0.14	92 0.35	68 0.29
突発性発しん	報告数 912 定点当たり 0.29	269 0.28	19 0.25	25 0.52	14 0.26	46 0.28	34 0.27	74 0.28	57 0.25
ヘルパンギーナ	報告数 7,595 定点当たり 2.42	3,265 3.40	191 2.55	117 2.44	108 2.04	693 4.28	458 3.63	874 3.31	824 3.55
流行性耳下腺炎	報告数 186 定点当たり 0.06	79 0.08	7 0.09	3 0.06	5 0.09	15 0.09	8 0.06	20 0.08	21 0.09
急性出血性結膜炎	報告数 22 定点当たり 0.03	7 0.03	1 0.06	-	-	6 0.14	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数 382 定点当たり 0.55	162 0.79	25 1.47	4 0.33	5 0.36	45 1.07	19 0.59	18 0.46	46 0.96
細菌性髄膜炎 #2	報告数 10 定点当たり 0.02	1 0.01	-	-	-	1 0.08	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数 15 定点当たり 0.03	2 0.02	-	-	1 0.11	-	-	-	1 0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数 315 定点当たり 0.65	70 0.80	9 0.69	4 0.57	-	14 1.17	1 0.11	39 1.56	3 0.25
クラミジア肺炎 #3	報告数 - 定点当たり -	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 5 定点当たり 0.01	1 0.01	-	-	-	-	-	-	1 0.08

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

感染症発生動向調査
2024年

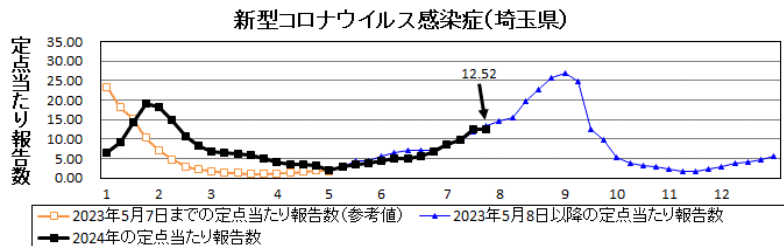
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第20週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第21週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第22週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第23週](#)

感染症の流行状況 2024年 第30週

2024年第30週（7月22日～7月28日）の要点

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は、第19週以降、増加傾向が続いていましたが、今週は前週と同水準となりました。

咳エチケット、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	↓	★★★★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	↓	★★	突発性発疹	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★★	ヘルパンギーナ	↓	★★★★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	↓	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	↓	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

